

(様式1-2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名	急傾斜地崩壊対策等		路河川名等	(急)福井	
事業毎の通番	1	市町村名	千曲市	箇所名(ふりがな)	ふい 福井
事業目的	当箇所は千曲市のしなの鉄道戸倉駅東部に位置し、がけ高さ最大170m、最大勾配35°の急斜面で、保全対象として人家12戸などが存在する。 対象斜面は、転石、浮石が点在し岩質はわずかに風化変質及び割れ目が発達し粘土の挟が見られ不安定となっていることから、崩壊や落石による人的被害の危険性が高い。このため早急に急傾斜地崩壊対策工により、土砂災害の防止を図り、保全対象の安全確保を図るものである。				
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化 (災害に強いインフラ整備)	事業実施の根拠法令等	急傾斜地法		
関連する事業、計画等					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家12戸、市道				
着手年度	2023年度(令和5年度)	事業期間	5年間	事業費(千円)	
完成年度(見込み)	2028年度(令和10年度)	費用対効果	3.2	国庫	その他 県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	崩落土砂防止工 L=100m 重力式擁壁工 L=150m	400,000	190,000	20,000	171,000 19,000
事業効果	直接的効果 (定量的・定性的)	人家12戸の保全 市道の保全			
	間接的効果 (定量的・定性的)	災害に強い地域づくり 土砂災害特別警戒区域の解除			
評価の視点	必要性	○人家戸数 : 12戸 ○公共施設数 : 市道 ○要配慮者利用施設の有無 : 無し ○避難場所、避難路の有無 : 無し			評価 B
	重要性	○過去の災害履歴 : 崩落跡あり ○交通遮断による地域経済への影響 : 中 ○地域防災計画上の位置づけ : 長野県・千曲市地域防災計画			評価 A
	効率性	○費用対効果(B/C) : 3.19 ○事業期間 : 5年間 ○工法等の比較検討 : 対策工法について検討あり			評価 A
	緊急性	○斜面の高さ : 146m ○斜面平均勾配 : 35° ○斜面地質 : 砂質土相当 ○斜面植生 : 20~30年の広葉樹 ○斜面形状 : 凹凸あり ○全対象の位置 : がけ下			評価 A
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係機関を中心に周知 ○地域の取り組み : 地域住民および千曲市より強い要望がある ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 土砂災害危険箇所パトロール実施 ○PDCA 事後・再評価からのフィードバック: 1-3-1			評価 A
所管課の意見	当急傾斜地は、土砂災害警戒区域内の斜面下に12戸の人家があり、崩落による影響が大きく重要度が高いことから、早期に対策が必要であり、事業着手が妥当であると判断する。		採択状況	総合評価	
政策評価室の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。		○	B	
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	-	評価の決定	事業着手

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】		
	  		
	① 事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	近年増加している豪雨等により、斜面崩落や落石の危険性が増していることから、土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域内にある人家12戸の保全を行う必要がある。	
	② 地域からの要望経緯及び地域の関わり	今後、地元住民を対象とした計画説明会を実施する予定。	
	③ 事業説明等の経緯	千曲市へ事業概要を説明(R4.4月) 今後、地元住民を対象とした計画説明会を実施する予定。	
	④ 他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし	
	⑤ 地球温暖化への配慮、自然環境・生活環境への影響と配慮	気候変動により発生確率が高まる土砂災害を未然に防ぐため、ハード対策を推進する。 自然環境への影響を最小限にするため、工事に伴う地形改変は極力少なくし、法面については緑化につとめる。	
⑥ 人口減少・少子高齢化を踏まえた地域活性化への影響と配慮	土砂災害を防止し、安全・安心な暮らしを確保することにより、集落の人口減少の抑制に寄与する。		
⑦ その他	-		
事後・再評価からのフィードバック	施設整備とあわせて、異常発生時の情報伝達の強化や避難方法、避難経路の確認などを行うことでソフト対策も進める。	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 29' 11" 東経:E 138° 9' 26"